



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1 巻/39号 2021/9/24

◆1年 ミニ課題探究始まる！！

9月16日（木）、いよいよ1年生のミニ課題探究がスタートしました。本校のミニ課題探究はクラスを解体して班を作り、自分達でテーマを設定し、試行錯誤を繰り返しながら探究に取り組んでいくのが特徴です。

第1回目は、メンバーの顔合わせと探究テーマの設定です。最初に各領域担当の先生からの説明がありました。次に、それぞれが簡単に自己紹介を行いました。お互い初めて話すという班も多く、最初は緊張した様子でしたが、次第に硬さもほぐれていき、各自が考えたテーマについて話し終える頃にはかなり打ち解けたようでした。探究の最大のポイントは、いかに上手にテーマ設定するかです。どの班も全員で智慧を絞りながら、時には担当の先生にアドバイスをもらいながら、懸命にテーマ設定に取り組んでいました。



写真 左：テーマ設定の様子 右：昨年度の発表の様子

◆水質調査（数理探究科1年）

9月16日（木）、長崎大学の飯間雅文先生をお招きして、大村高校敷地内を流れる玖島川や大村公園の池の水環境調査を行いました。身近な水環境を化学的指標と生物的指標の両面から調査・分析する活動を通して、郷土大村の現状を理解することや、科学的な考え方や判断力を身につけることを目的に実施しました。

まず、学校敷地内を流れる玖島川や大村公園内の池の観察、サンプル採取を行いました。その後採集したサンプルの塩分濃度やpH、リン酸濃度、CODを測定しました。また、顕微鏡による水生生物の観察も行いました。これらの活動を通じて、結果の分析における情報の整理と多角的な視点の重要性や本校周辺に生息する貴重な生物種についての理解を深めることができました。



◆2年生大学セミナー

9月15日（水）、2年生全員を対象に、大学セミナーを開催しました。これは、それぞれが興味関心のある分野の講義を受講することにより、進路意識の向上、ひいては自身の生き方を考えるきっかけにすることを目的として開催するものです。県内4大学、13名の先生に講義をお願いしました。新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの講座がオンラインでの実施となりましたが、生徒達は大学の先生方からの講義を受けることができ、大学での学びについてより理解を深めたようです。我々教員にとっても、新たな気づきが多くありました。講義を担当していただきました先生方、大変ありがとうございました。



【開講講座一覧】

	系統	大学・学部	講師
1	国際	長崎大学 多文化社会学部	谷川 晋一 氏
2	教育	長崎大学 教育学部	前田 桂子 氏
3	経済	長崎大学 経済学部	工藤 健 氏
4	医療	長崎大学 医学部保健学科	田中 悟郎 氏
5	薬学	長崎大学 薬学部	栗山 正巳 氏
6	情報	長崎大学 情報データ科学部	瀬戸崎 典夫 氏
7	工学	長崎大学 工学部	佐々木 謙二 氏
8	環境	長崎大学 環境科学部	関 陽子 氏
9	水産	長崎大学 水産科学部	天野 雅男 氏
10	看護	長崎県立大学 看護栄養学部	安野 敦子 氏
11	地域創造	長崎県立大学 地域創造学部	鳥丸 聡 氏
12	幼児教育	長崎純心大学 人文学部	上江洲 香代子 氏
13	栄養	活水女子大学 健康生活学部	田中 珠美 氏

SSH活動の詳細は、下記URLまたは2次元コードから

→ <http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html>

